第34回
関東甲信越ブロック
理学療法士学会

市民公開講座

●日　時：平成 27 年 9 月 13 日（日）15：00 ～（14：40 開場、16：20 終了）

●会　場：アピオ甲府 本館 1 階 寿の間（山梨県中巨摩郡昭和町西條 3600）

・講　師：萩原智子さん
（シドニー五輪競泳日本代表、日本水泳連盟理事）

・テーマ：いつも笑顔で ～克己心～

・対　象：どなたでもご参加いただけます。

・参加料：無料（事前登録不要、直接会場にお越し下さい。）

・問い合わせ先：一般社団法人 山梨県理学療法士会
企画局公開講座部

上田（恵信りほく病院リハビリテーション室内）
E-mail:o-ueda@keishin-g.or.jp
一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ
http://ypta.jp/

・駐車場に限りがございますので、なるべく乗り合わせで
お越しいただけますようお願い致します。

萩原智子さんプロフィール

「ハギトモ」の愛称で親しまれ、ダイナミックな泳ぎで多くの水泳ファンを魅了。
2004 年に一度引退するが、5 年後に再度復帰。しかし、五輪を目指す中で「子宮内膜症・卵巣のう腫」と診断される。
困難を乗り越え、どのようにモチベーションを上げてきたのか、自身の競技人生を振り返りながら熱く語る。

★ 職歴・経歴

1980 年生まれ。山梨県出身。
中学 3 年生時に、海外遠征カナダ選手権 200m 背泳ぎで、当時、日本歴代 2 位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m 背泳ぎで、3 連覇達成。
同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3 個の金メダルを獲得。
2000 年シドニー五輪、200m 背泳ぎ 4 位、200m 個人メドレー 8 位入賞。
2002 年日本選手権、100m、200m 自由形、200m 背泳ぎ、200m 個人メドレーで史上初の 4 冠達成。
2004 年現役引退。
5 年の歳月を経て、2009 年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年 2010 年には、30 歳にして日本代表に返り咲いた。
同年、ワールドカップ東京大会で 50m 自由形、100m 個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
順調な仕上がりを見せていた矢先、五輪前年である 2011 年 4 月に、子宮内膜症・卵巣のう腫と診断され、手術。
手術後は精力的にリハビリに励み、レース復帰。
2012 年 2 月の JAPAN OPEN では、50m 自由形で短水路日本記録を樹立。
4 月に行われたロンドン五輪代表選考会ではレベルが上がってきた女子自由形で、堂々と決勝に残り、意地を見せた。
2013 年 6 月、日本水泳連盟理事に就任。現在は、テレビ出演や水泳教室、講演活動など多岐に渡る活動を行っている。

主 催　一般社団法人山梨県理学療法士会
共 催　公益社団法人日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会
後 援　山梨県